

## 香川大学学長候補者の選考結果の公表について

### 1 学長候補者の氏名

上田 夏生 氏

### 2 任 期

令和5年10月1日から令和9年9月30日まで

### 3 選考理由

学長選考・監察会議は、学長候補適任者である上田夏生氏に対して面接を行い、所信を聴取し、意向聴取の結果を参考として審議した結果、「同氏は、学長候補者選考基準に照らして、同基準に掲げる4つの資質と能力を十分有している」と判断した。

同氏は、長年にわたる教育・研究経験に加えて、医学部運営や大学運営に係る要職を歴任し、医学部はもとより大学全体の機能強化に大きく貢献してきた。

特に、医学部副学部長、医学部長として、平成30年には全国の国立大学医学部で初めてとなる臨床心理学科を開設し、続いて、令和2年には大学院医学系研究科臨床心理学専攻を開設、令和4年には大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）を開設するなど、優れた人材の輩出に尽力してきた。

また、最近では、教育担当副理事として、DRI教育<sup>(注)</sup>の拡充及び学修成果の可視化など全学的な教育機能の向上に取り組むなど、優れた経験とリーダーシップを発揮して、教育改革の先駆的役割を果たしてきた。

(注) イノベーションを創出する「デザイン思考(D)」, レジリエンスやセキュリティに資する「リスクマネジメント(R)」, 専門分野を超えた数理情報基礎力「インフォマティクス(I)」の3つを統合した能力を育成すること。

今後、国立大学を取り巻く環境がますます厳しくなることが予測される中、香川大学の理念である『世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する』大学であり続けるためには、香川大学として、これまで進めてきた大学改革を継承し、社会状況の変化に先見の的かつ着実に対応する革新を成し遂げていくことが、次期学長に求められる重要な使命であることから、同氏を最適任者として認め、次期学長候補者として決定した。

#### 4 選考経過

(1) 令和5年1月4日(水)

学長選考・監察会議は、学長候補者選考日程の決定及び学長選考について公示した。

(2) 令和5年2月10日(金)

学長選考・監察会議は、意向聴取等管理委員会を設置した。

(3) 令和5年2月13日(月)

学長選考・監察会議は、学内推薦資格者(大学法人の役員及び教職員)からの被推薦者の推薦について公示し、推薦資格者へ通知するとともに、経営協議会学外委員へ被推薦者の推薦について依頼した。

(4) 令和5年4月20日(木)

学長選考・監察会議は、学内推薦資格者からの被推薦者である、上田夏生氏(国立大学法人香川大学副理事、香川大学医学部教授)を学長候補適任者として選定し公表、令和5年4月21日(金)に意向聴取等管理委員会へ通知した。なお、学外委員からの被推薦者の推薦はなかった。

(5) 令和5年5月12日(金)

意向聴取等管理委員会は、意向聴取の実施について、投票日時、場所及び学長候補適任者1名を公示し、投票資格者へ通知した。

(6) 令和5年5月29日(月)

1名の学長候補適任者について、投票資格者513名により意向聴取投票が行われた。

投票資格者数	513名
投票者数	315名
有効投票数	307票
(うち白票数	28票)
無効投票数	8票
投票率	61.4%
(得票数)	
上田 夏生	279票

(7) 令和5年5月30日(火)

学長選考・監察会議は、学長候補適任者に対して面接を行い、所信を聴取した上で、意向聴取の結果を参考として、学長候補者を決定し、公示を行った。

令和5年5月30日

国立大学法人香川大学学長選考・監察会議